

背景・目的

近年の高温傾向を受けて、農業者等からハウス内の高温対策の要望が寄せられていることから、慣行で使用されている資材よりも遮光率が高く、遮熱効果が期待される遮光遮熱資材を対象に葉菜類への影響について調査しました。

供試品目：摘み取り春菊，チンゲンサイ，サニーレタス，ハウレンソウ，コマツナ

結果

試験区	使用資材（製造元） 〔遮光率〕	遮光率 （％）	防虫ネット 網目（mm）	換気扇 温度設定	資材使用 期間	供試品目
50% 遮光区	ふあふあホワイトプラス 50 （ダイヤテックス㈱）	50	0.80	25℃	7月 3日から 9月 10日まで	全品目
慣行区 1	クールホワイト 420SW （㈱イノベックス）	25～30	0.60	18℃	8月 20日から 9月 4日まで	摘み取り春菊
慣行区 2	ワリフ明涼 30W （日新商事㈱）	30	1.25	25℃	7月 10日から 8月 27日まで	摘み取り春菊 を除く 4 品目

50%遮光区での栽培結果

- ・ 摘み取り春菊：徒長，高温障害減少
- ・ チンゲンサイ：徒長
- ・ サニーレタス：徒長，高温障害減少
- ・ ハウレンソウ：徒長，抽苔
- ・ コマツナ：徒長



コマツナの徒長（左3株 慣行区2，右3株 50%遮光区）

高温障害が減少した品目もあったが，全品目で徒長が発生。

栽培環境

ハウス内気温及び地温を抑制。 ※体感で気温の低下を感じられる。

50%遮光区の積算平均温度を 100%としたときの各区との比較

	測定期間：7/3～7/9			測定期間：7/10～8/19			測定期間：8/20～8/27		
	遮光条件	気温	地温	遮光条件	気温	地温	遮光条件	気温	地温
50%遮光区	50%	100%	100%	50%	100%	100%	50%	100%	100%
慣行区 1	無	107%	112%	無	109%	117%	25～30%	105%	111%
慣行区 2	無	105%	110%	30%	103%	110%	30%	105%	111%

結果の活かし方

遮光率 50%の遮光遮熱資材の常時使用は，昇温抑制や高温障害回避の利点よりも，照度低下による徒長や抽苔が目立つ結果となりました。

そのため，張りっぱなしにするのではなく，高温障害が発生するおそれがある時や，ハウス内での作業時に使用することをお勧めします。